

BIO JAPAN 2008とJETRO BIOLINK FORUM 2008に出展しました

平成20年10月15日(水)～17日(金)の3日間、メディカルバレープロジェクトは東海バイオものづくり創生プロジェクトの一つとして、NPOものづくり中部と共同して「BIO JAPAN 2008(会場：パンフィコ横浜)」にブースを出展しました。また、メディカルバレープロジェクトは、三重県、三重大学、津市、ドイツのバイオコンバレーがブースを並べながら共同展示を行う形で、それぞれに来場者と活発な情報交換をすることができました。

メディカルバレープロジェクトの事務局である三重県のブースでは、同プロジェクトが推進してきたこれまでの取組・成果と、今年度から3年間かけて実行する第二期実施計画の展示を行いました。ブースを訪れた方の中には特に、みえ治験医療ネットワークを参考にしたいという方や、熊野古道の薬草など地域資源の利用に関心を持つ方が多くみえました。

同展示会の来場者は全体で約24,000人(昨年約16,000人)と昨年よりも大幅に増。16日(木)に開催された「JETRO BIOLINK FORUM2008(会場：横浜ロイヤルパークホテル)」への出展もあわせ、国内外問わず多くの方にメディカルバレーを知っていただけた3日間となりました。



■ BIO JAPAN 2008

福祉用具 フォーラム 2008 開催

2008年12月17日、津市の三重県身体障害者総合福祉センター(みえテクノエイドセンター)で福祉用具フォーラム2008が開催され、障害者やケアマネージャー、福祉施設職員、理学療法士、作業療法士、専門学校生など福祉関係者を中心に146人の参加者が来場しました。福祉用具、リフト、エアマット、自助具の会場に分かれて小グループごとにセミナーが行われ、最後に福祉用具アイデアコンクールの表彰式で締めくくられました。今年は講師との距離が近く、じっくり使用感を確かめ、質問する参加者の姿が見られました。

福祉用具、自助具の使い心地を体感

福祉用具の会場では(社)日本福祉用具供給協会三重ブロックの会員ほか福祉用具企業19社が、歩行器やベッド、手すり、おむつなど最新の福祉用具の展示を行いました。リフトのセミナーでは参加者が交互に介護者と被介護者の役割で移乗を体験し、エアマットのセミナーでは実際に寝転がって使い心地を体感しました。



■ リフトセミナー

また自助具の会場では、県内の3つの自助具製作グループが参加し、キャップ開け、キーボードカバー、スプーンなど手作りの自助具を紹介するとともに、参加者にその場で簡易カードキャッチャーを作成してもらいました。



■ 福祉用具フォーラム展示会場

福祉用具アイデアコンクール授賞式

第3回福祉用具アイデアコンクールには、全国から過去最多の187点の応募がありました。三重大学の池浦教授らで構成される委員会が有用性・独創性・普及性・実現性の観点から審査を行い、ステープラー型の器具でのり付けすることにより片手でボタンを付けられる、最優秀賞の「ボタン革命」など6つのアイデアに賞を授与しました。



■ 福祉用具アイデアコンテスト授賞式

最優秀賞を受賞した、尼崎市の専門学校生の阪田純乃さんは「片まひの人が片手でできないことをできる自助具を考えました。自助具を考えたり、作るのが好きなので、作業療法士になったら希望に合った自助具をつくらせてあげたい」と話しておられました。

受賞アイデア・受賞者の皆さん

● 最優秀賞	「ボタン革命」	阪田 純乃 さん
● 優秀賞	「はじめの一步」	山下 佳孝 さん
● 優秀賞	「立位重心強制平行棒」	村中 良成 さん
● みえメディカル研究会賞	「ぬげるんです。」	松岡 剛 さん
● (社)日本福祉用具供給協会 三重ブロック賞	「坂道楽ラク四点杖!!」	西村 健二 さん
● 伊勢新聞社賞	「ケータイ固定用板」	加藤可奈絵 さん